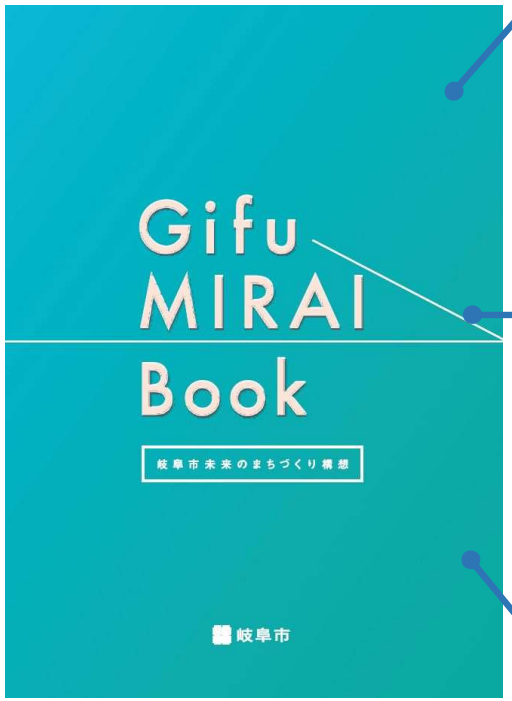
資料3

岐阜市未来のまちづくり構想
改定版（素案）について



R8年10月6日　企画部未来創造研究室

岐阜市未来のまちづくり構想とは



01 定義

2040年頃を見据えたまちづくりの総合的な方針

02 計画期間

令和4年4月～令和22年度（2040年）

⇒65歳以上のシニア世代の人口がピークとなる等、
日本全体や岐阜市の人口構造の変化における
大きな局面が予想される時期

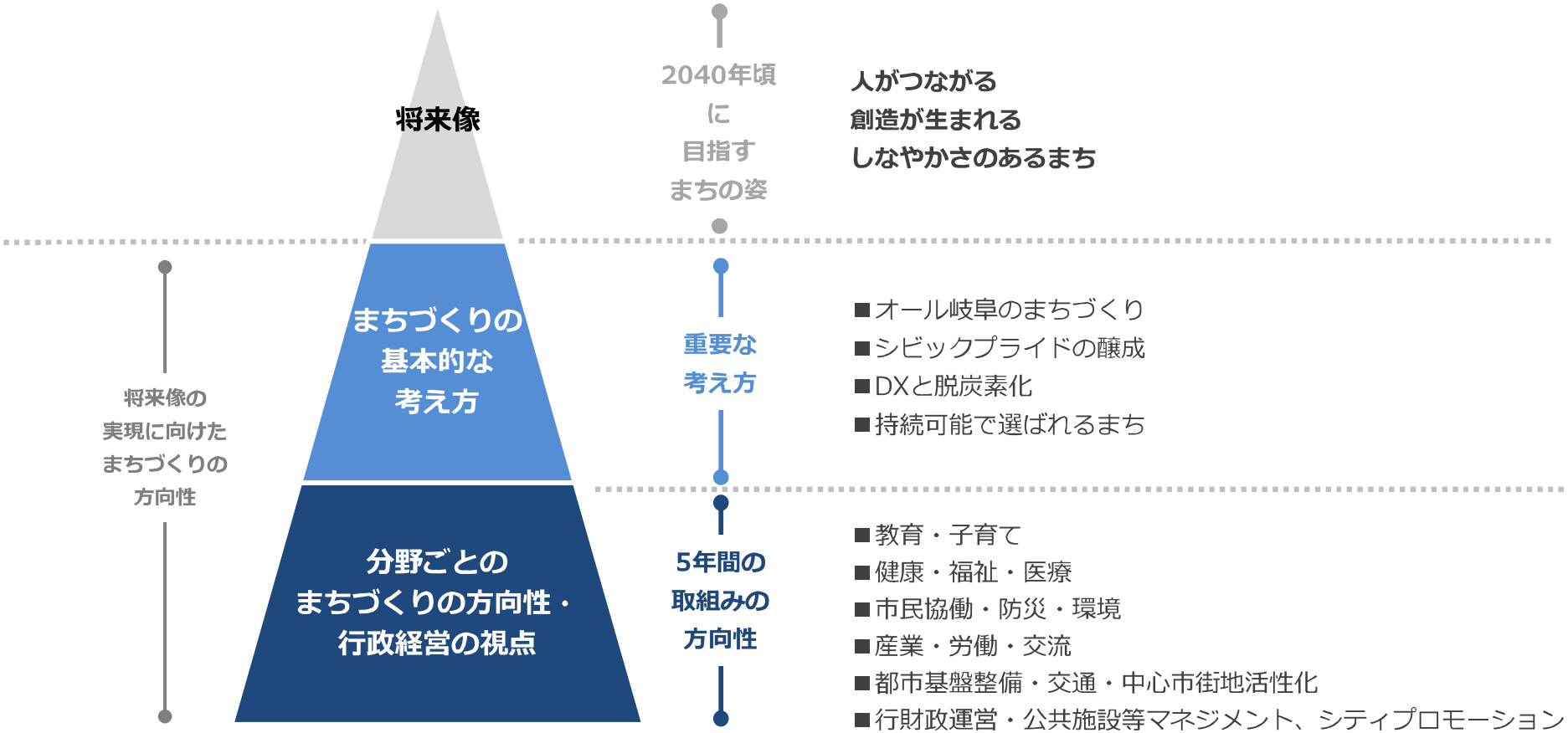
03 改定時期

令和9年1月末改定予定

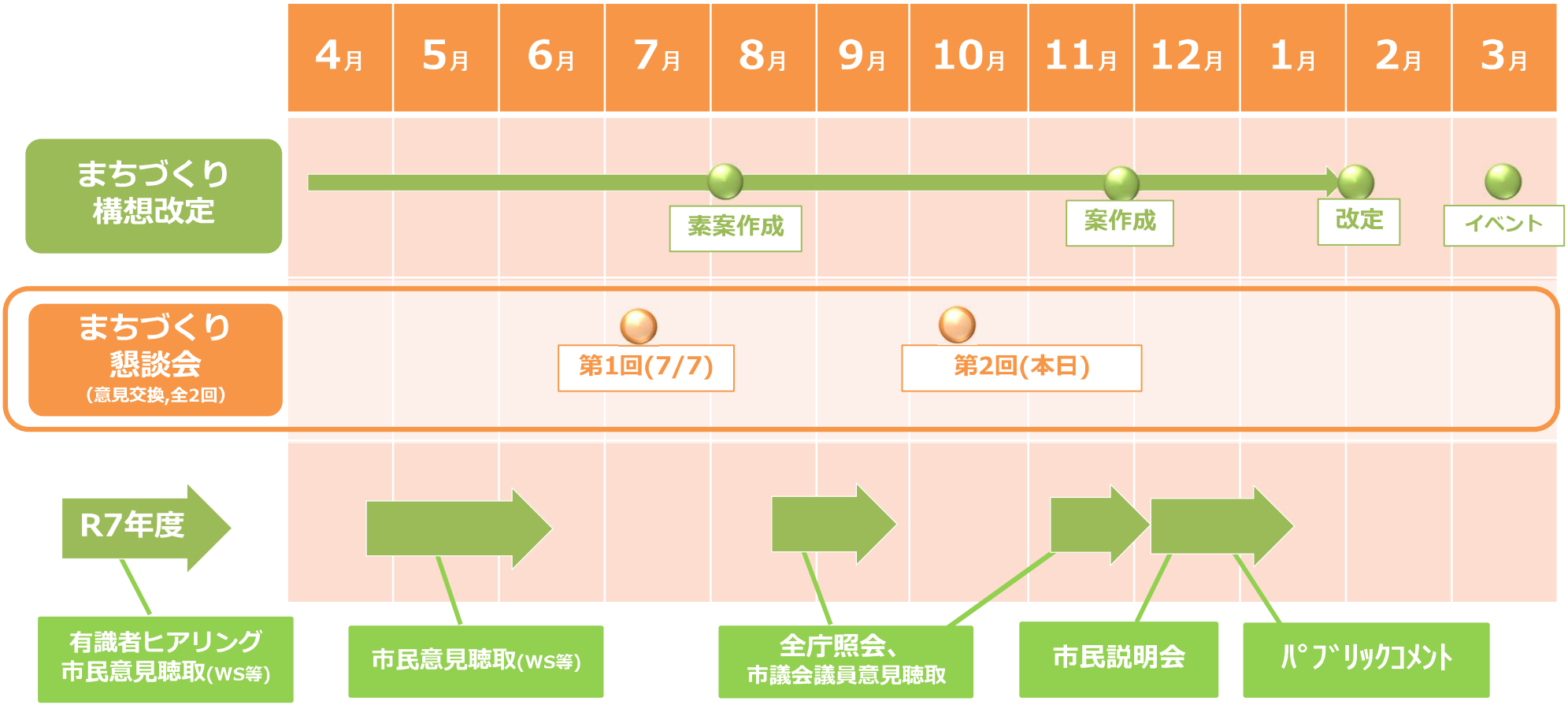
※施行は令和9年4月～

未来のまちづくり構想の構成

将来像とその実現に向けた**まちづくりの方向性**を示している

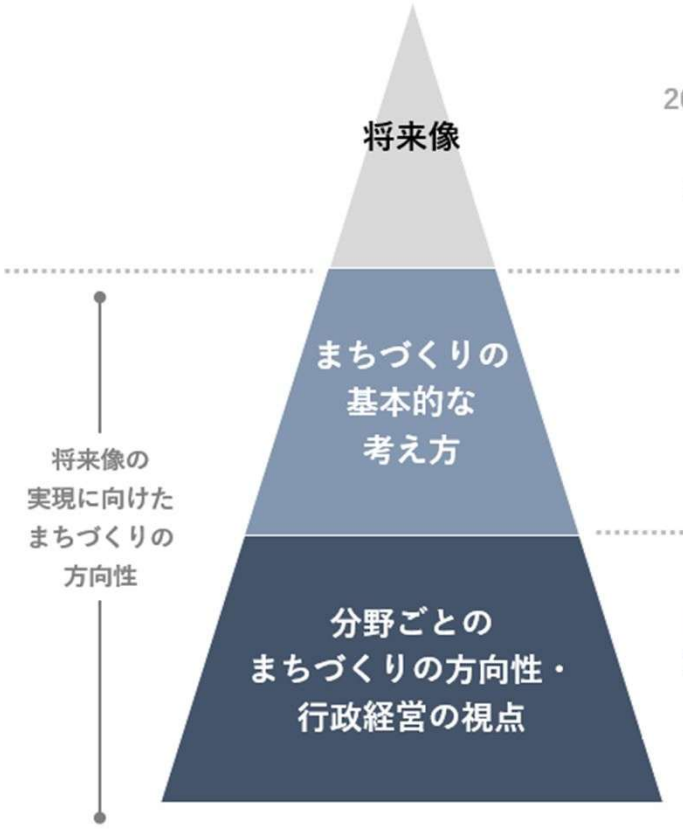


改定に向けたスケジュール



未来のまちづくり構想の改定の方向性

将来像は改定せず**将来像の実現に向けたまちづくりの方向性**を**アップデート**



2040年頃に目指すまちの姿

人がつながる
創造が生まれる
しなやかさのあるまち

改定しない

重要な考え方

■オール岐阜のまちづくり
■シビックプライドの醸成
■DXと脱炭素化
■持続可能で選ばれるまち

5年間の取組みの方向性

■教育・子育て
■健康・福祉・医療
■市民協働・防災・環境
■産業・労働・交流
■都市基盤整備・交通・中心市街地活性化
■行財政運営・公共施設等マネジメント、シティプロモーション

大枠は堅持しつつ、
新たな視点の**追加、**
施策や行政経営の視点を
アップデート

まちづくりの基本的な考え方の改定案

人や企業に選ばれ共に進化する岐阜市

固有の資源の活用と官民連携により、安心な暮らしと挑戦を支え、変化の実感が共有されるまち

皆さんが「住み続けたい」「挑戦したい」と心惹かれるのは、どのようなまちでしょうか。
岐阜市が活力を維持し「選ばれるまち」として進化し続けるため、先進技術と本物志向の魅力を融合させ、「岐阜市ならでは」の深い共感を創出します。
この共感が新たな活力を呼び、民間投資を通じて多様な挑戦が芽吹く好循環を確立します。
こうした成長の歩みを災害等に強いレジリエントな都市基盤で足元から支え抜きます。
これらを連動させ、期待と安心感に包まれ共に進化する岐阜市を実現します。



先進技術の実装と本物志向の魅力により更なる共感が創出されるまち



レジリエントで価値の高いまち



多様なチャレンジと変化が生み出される民間投資が活発なまち

まちづくりの基本的な考え方の改定案

豊かさと希望と生きがいに満ちあふれた持続可能な岐阜市

こどもファーストや寄り添う支援により、次世代の育成が進み誰もが幸福を感じながら活躍するまち

私たちが生涯心豊かに暮らせるまちとはどのような姿でしょうか。
岐阜市は、互いに認め合い、学びと挑戦を通じて未来に希望を持てる包摂的な社会を築きます。
多様な生き方を尊重し、　人口減少を見据えた仕組みへ転換しつつ、
一人ひとりに確かな居場所と出番を創出する。
こうした環境が心身の健康と温かい交流を育み、Well-being に満ちた活力を生み出します。
これらを連動させ、持続可能な岐阜市を実現します。



学びや成長を実感し未来に希望を持てる包摂的なまち



居場所と出番がある持続可能なまち



Well-beingに満ちた活力あるまち

まちづくりの基本的な考え方の改定案

オール岐阜で共創する岐阜市

DXによる変革の先頭に立ち、共助・共生により多様な主体が支え合うまち

オール岐阜で取り組むには何が必要でしょうか。
岐阜市は、一人ひとりが当事者意識を持ち、自発的に活動する市民主体の環境を整えます。
その実践の積み重ねがまちへの深い愛着と誇りであるシビックプライドを育む。
こうした市民の熱意とＤＸ等の基盤を掛け合わせることで、多様な主体が連携する
オープンイノベーションが促進されます。
行動が誇りを育て、共創へ飛躍する。
これらを連動させ、オール岐阜で進化するまちを実現します。



市民主体のまちづくりが進展するまち



地域コミュニティとシビックプライドの醸成が進むまち



多様な主体の連携によるオープンイノベーションを促進するまち

ご意見いただく内容

	① 現構想	② 改定版
まちづくりの基本的な考え方	・オール岐阜のまちづくり ・シビックプライドの醸成 ・DXと脱炭素化 ・持続可能で選ばれるまち	・人や企業に選ばれ共に進化する岐阜市 ・豊かさと希望と生きがいに満ちあふれた持続可能な岐阜市 ・オール岐阜で共創する岐阜市
	第1回（7/7）に意見をいただいた箇所	
分野ごとのまちづくりの方向性 行政経営の視点	・教育・子育て ・福祉・医療・健康 ・市民協働・防災・環境 ・産業・労働・交流 ・都市基盤整備・交通・中心市街地活性化 ・行政経営の視点	**本日、第2回懇談会にて意見交換**

分野ごとのまちづくりの方向性の改定に向けた主なポイント

教育・子育て（こどもファーストでみんなを笑顔にするまちへ）

主な追加・強化点

・ヤングケアラーを含む、困難を抱える子どもへの支援
・デジタルツールとエビデンスを活用した子ども支援
・児童生徒数の変化を踏まえた学校運営
・産官学連携による事業創出や地域課題解決の取組み推進
・市立大学改革
・公立大学法人の大学運営
・地域の大学間の積極的な連携推進
・子どもの権利、意見聴取及びまちづくりへの参画

健康・福祉・医療（だれもが健康で自分らしく生きられるまちへ）

主な追加・強化点

・官民連携による健康課題の認知・早期発見への強化
・プレコンセプションケア
・生涯を通じた切れ目のない健康増進
・高齢者のデジタル見守り体制
・介護等の担い手不足対策
・高齢者の生きがいづくりと地域での活躍支援
・ユニバーサルデザインの考え方を取り入れたまちづくり
・コミュニティソーシャルワーカーの配置
・災害時の医療救護体制

分野ごとのまちづくりの方向性の改定に向けた主なポイント

市民協働・防災・環境（人をつなぎ、暮らしと環境を守るまちへ）

主な追加・強化点

・自治会のデジタル活用の活用支援
・社会関係資本（ソーシャルキャピタル）の醸成と住民自治の深化
・多様な主体の協働を促す中間支援組織の連携
・事前防災から復旧・復興までの一連の取組体制の推進
・個別避難計画と要配慮者支援、尊厳の視点
・ゼロカーボンシティ実現に向けたオール岐阜の取組
・気候変動への「適応」の取組み推進
・循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行推進
・グリーンインフラの取組み推進
・ネイチャーポジティブの視点

産業・労働・交流（活気あふれる仕事と交流のあるまちへ）

主な追加・強化点

・持続可能な地域産業・ビジネスモデル
・デジタル技術を活用したイノベーションと新事業創出
・理工系・デジタル人材の育成、多様な知見との共創による地域企業の変革推進
・STATION Aiとの連携
・重層的な就労支援
・日本遺産を活用した本物志向の観光まちづくり
・DMOを中心とした観光地経営と再投資
・インバウンド誘客の強化
・まちなかの広場等を活用したアクションスポーツ
・ロケツーリズムの推進

分野ごとのまちづくりの方向性及び行政経営の視点の改定に向けた主なポイント

都市基盤整備・交通・中心市街地活性化（活力と暮らしやすさのあるまちへ）

主な追加・強化点

・災害リスクを踏まえたコンパクト・プラス・ネットワーク
・自動運転バス「GIFU HEART BUS」の継続運行
・緑を社会基盤として捉えるグリーンインフラの推進
・国道21号岐阜市内立体事業等に係る連携や整備の推進
・鉄道高架化と統合駅周辺の一体的な整備
・岐阜駅北の市街地再開発事業
・柳ケ瀬における民間主導のまちづくり
・つかさのまちにおける交流とシビックプライド
・岐阜公園エリアの観光拠点の魅力向上

行政経営の視点

主な追加・強化点

・成果・優先度の見える化による、効率的かつ効果的な事務事業の見直し
・窓口業務DXの推進
・BPRやクラウドサービスの活用による市役所内部業務のDX推進
・AIデフォルトな組織づくり
・人流データ・BIツール等を活用したEBPMの推進
・コミュニケーションツールを活用したタスク管理・タイムマネジメント
・DXを担う人材の育成・確保
・民間事業者との共創による公共施設等の利活用
・空き地や老朽化した公共施設等の有効活用
・「住む人・来る人・働く人」を増やすプロモーションへ
・質の高い暮らしのブランディング推進

分野ごとのまちづくりの方向性（案）

P14～17　教育・子育て

P18～21　福祉・医療・健康

P22～25　市民協働・防災・環境

P26～29　産業・労働・交流

P30～33　都市基盤整備・交通・中心市街地活性化

教育・子育て

こどもファーストでみんなを笑顔にするまちへ

P15
❶ 子どものいのちを守り、学びを支えます
❷ 子育てに希望と安心のあるまちへ

P16
❸ 教育のリ・デザイン（未来の教育・未来の学校づくり）
❹ 子どもの可能性を広げる幼児教育

P17
❺ これからの時代に相応しい高等教育へ
❻ 子どもと教育を中心とするまちづくり

❶　子どものいのちを守り、学びを支えます

- 子どもとその教育に関わる当事者である学校・家庭・地域の誰もが生命の尊厳を理解し、一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育を推進
- 子どもが心身ともにより良い状態を維持・増進するとともに、自然災害や熱中症、交通事故等の不慮の事故から子どもを守る取組を推進
- いじめや虐待をなくし、不登校や貧困、障がい、ヤングケアラーなど様々な困難や悩みを抱える子どもを支援するとともに、その支援に必要な人材の確保や育成を推進
- 健康危機等の外的要因や、一人ひとりの特性・発達等の内的要因に関わらず、誰一人取り残されることなく安心して学び続けられる仕組みの構築や体制を整備
- デジタルツールを活用し、エビデンスに基づき子どもの状況を的確に把握・分析して効果的な支援を推進

❷　子育てに希望と安心のあるまちへ

- 結婚、妊娠、出産、子育てにおける希望を実現するまちづくりの推進
- 岐阜市子ども・若者総合支援センター「エールぎふ」等を拠点とし、子育ての悩みや不安、孤立の解消に向けた切れ目のない総合的・継続的な支援の充実と、家庭や地域の子育て力・教育力の向上を図る
- 多様な働き方ができるまちづくりの推進や、子どもに関わる大人が共に子育てをすることなどにより、誰もが仕事と生活や子育ての調和のとれた暮らしの実現を図る
- 貧困状況にある家庭への支援や児童虐待防止対策、外国ルーツの子ども・家庭への対応の充実等、すべての子どもの将来の自立や社会参加、就労への接続を推進
- 民間の力も活かしながら、多様化する保育ニーズに対応するため、保育環境の充実を図る
- 発達の遅れや障がいなどへの早期対応とともに、障がいの有無にかかわらず、すべての子どもが共に育ち、学び合い、健やかに成長できる保育や教育の環境づくりを推進

❸　教育のリ・デザイン（未来の教育・未来の学校づくり）

- 自ら考え、選択して行動する力、変化にしなやかに対応し、新たな価値を創造する力を育む教育を推進
- 一人ひとりが望む生き方を探究し、好奇心・探究心・創造力の育成、自己肯定感の向上につながる教育を推進
- 一人ひとりの特性に応じた個別最適な学びと協働的な学びを推進
- タブレット端末等を活用し、あらゆる教科、デザインやアート、テクノロジーに関する教育、小中高生のアントレプレナー精神（自ら課題を見つけ、挑戦し、新しい価値や事業を創造する姿勢）を育成する取組、本市の歴史や文化・自然、地域の食などの資源を活かした独自の学びを推進
- 教職員の働き方改革と必要な資質・能力の育成を推進するとともに、児童生徒数など学校を取り巻く環境の変化を新たな教育の可能性と捉え、子どもに深く向き合う、あたたかさと働きがいにあふれる学校運営体制を構築
- 小中一貫教育の取組を踏まえ、義務教育学校等における多様な学びを推進
- 良好な教育環境の整備・充実とともに、教育DX の推進による学び方の変化や公共施設等マネジメントを踏まえた学校施設の将来のあり方の検討を推進

❹　子どもの可能性を広げる幼児教育

- すべての教育の出発点である家庭教育を支援するための機会の創出や情報発信等の充実を図る
- 民間企業や大学の知見等も活かしながら、認知能力だけではなく、自己肯定感や主体性、協調性、社会性といった非認知能力を育む教育を推進
- 幼児期と義務教育期の円滑な接続など、子どもに関わる人や組織の連携を促進
- 子どもの個性や発達の多様性、心や体の健康増進に関する大人の理解を促し、適切で継続的な支援を実施
- 子どもは遊びを通して学び、成長し、また、探究力を高めていくことから、外遊びをはじめ、様々な場所で遊び込む機会やそのための環境整備を推進

❺　これからの時代に相応しい高等教育へ

- 変化の激しい時代にも対応できる基礎的で普遍的な知識や技能を育むとともに、新たな価値を創造する人材や起業家を育成するなど、一人ひとりの可能性を最大限に伸長する教育を推進
- 多様な世代や価値観が集う知の拠点である大学における地域社会との橋渡しを担うコーディネート機能の充実と、産学官連携によるスタートアップ支援、大学発ベンチャーの創設等の新たな事業創出や地域課題解決を図る取組を推進
- 本市の幼児教育・初等中等教育機関との連携及び、市内外の高等教育機関や民間企業等との連携・共創を促進
- 大学の専門性を活かしたリカレント教育（社会人の学び直し）を推進
- 岐阜薬科大学と岐阜市立女子短期大学を統合した大学を開学し、薬学部と新たな理系学部との連携のもと、岐阜市をはじめとする地域社会の活性化、さらに世界で活躍し地域社会へ還元できる人材を輩出
- 県内を中心とする地域の国立・公立・私立大学間の連携を積極的に進め、高等教育の充実を通じて地域社会の持続的な発展を牽引
- 公立大学法人による自律的かつ機動的な大学運営を通じ、教育研究の質の向上を図るとともに、積極的な外部資金獲得の取組を推進

❻　子どもと教育を中心とするまちづくり

- 多様な立場を尊重し、対話を通じて共に学び合う機会や場づくりを推進
- 公共施設やオープンスペースなど、まちに点在する多様な地域資源を活かした学びと実践ができる機会や場づくりを推進
- 学校や公民館等を拠点としながら、学校・家庭・地域が一体となり、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等を活かした人材育成とコミュニティの活性化を促進
- 子どもが安全に安心して、楽しく学び、過ごせるサードプレイス（自宅や学校・職場ではない場）の充実と、オンラインを活用した新たな居場所づくりを推進
- 意見表明権をはじめとした、子どもの権利を尊重するとともに、関係する施策について子どもからの意見聴取及び反映を推進
- 子どもがまちづくりなどの担い手として主体的に参画し、活動を通じて社会性と創造性を育みながら成長できる機会と仕組みづくりを推進
- 幼児教育から高等教育まで一人ひとりの学びと成長がつながり続ける教育環境を構築し、地域に根ざした豊かな学びの土壌で次世代の希望と活力を育むまちづくりを推進

健康・福祉・医療

だれもが自分らしく健康に生きられるまちへ

P19
❶ 人生１００年時代、伸ばそう健康寿命
❷ 高齢者や障がいのある人が安心できるまちへ

P20
❸ ちがいを大事にして生きる力に変えるまちへ
❹ 一人ひとりに寄り添う福祉

P21
❺ いのちを支える安心の医療体制
❻ だれもが健やかに、健康課題と健康危機に対応したまちへ

❶ 人生１００年時代、伸ばそう健康寿命

- 健（検）診の受診や保健指導の利用を促すことにより生活習慣病の予防を推進するとともに、官民連携で認知度向上、早期発見に関する情報提供・啓発を実施
- スマートフォン等によるウォーキングアプリなどの活用や、健（検）診結果を見ることで、自らの健康状態を把握し健康意識を高めるなど、生活習慣の改善など健康増進につながる行動を促進
- 健康を増進するために望ましい身体活動・運動の習慣づくりへの支援を充実
- 誰もが健全な食生活を実践していくことができるよう、飲食関連事業者や地域のボランティア団体などと連携し、ライフステージに応じた食育を推進
- 栄養、運動、口腔機能の維持、社会参加を促し、適切な支援により、生活機能の低下や介護状態となることを防ぐフレイル予防の取組を実施
- 男女問わず、将来を見据えた妊娠前からの健康管理を含め、性や健康に関する正しい知識を身につけ、妊娠・出産を含めた将来設計や将来の健康を考えて、自分の健康管理を行うプレコンセプションケアの普及啓発を推進
- 次世代から高齢期までライフステージに応じた心身の健康づくりを支援し、生涯を通じた切れ目のない健康増進を推進

❷ 高齢者や障がいのある人が安心できるまちへ

- 地域ごとの特性も活かしながら、医療や介護などの様々な職種が連携して高齢者等を支援する地域包括ケアシステムを充実
- ICT 等のデジタル技術を活用した高齢者の見守り体制の構築により、安全・安心の確保を推進
- 認知症への理解啓発や、成年後見制度の活用促進など、認知症との共生に向けた取組を推進
- 介護等の担い手の確保・育成に向け、労働環境改善や外国人材の活用、介護ロボット・ICT 等のデジタル技術活用などに対する支援策について積極的に情報発信するとともに、必要な知
- 識や技術を習得する機会の充実を図る
- 障害福祉サービス等の提供や相談支援体制の充実を図るとともに、一般就労と福祉的就労の機会の確保に努める
- 高齢者の豊富な知識や経験を活かした学習機会の提供や社会参加の促進により、生きがいづくりと地域で活躍できる環境づくりを支援

❸　ちがいを大事にして生きる力に変えるまちへ

- 障がいや障がいのある人に対する理解と配慮の啓発に努めるとともに、施設や道路、公共交通、情報の入手などに関するバリアフリー化を推進
- 互いの文化や習慣を理解し合うことができ、外国人市民にとって暮らしやすく活躍できる多様性を活かしたまちづくりを推進
- 様々な人権課題を正しく理解し、確かな人権感覚を身に付ける教育や啓発を進め、誰もがその個性や価値観を互いに尊重し合う社会を実現
- 男女が性別に関わらず、対等な構成員として社会の様々な活動に参画し、個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を推進
- 年齢や性別、国籍、障がいの有無など様々な違いをこえて、すべての人が利用しやすいユニバーサルデザインの考え方を取り入れたまちづくりの推進

❹　一人ひとりに寄り添う福祉

- 高齢の親とその子の生活が問題となる「8050問題」のような、分野ごとの支援では対応が困難な、複雑・複合化した支援ニーズを受けとめる包括的な支援体制を構築
- 個々の状況に応じた就労支援や生活支援を包括的に実施するなど、複合的な課題を抱える生活困窮者等への支援体制を充実
- 自殺の危険を示すサインへの気づきや傾聴等を行うゲートキーパー（いのちの門番）についての理解を進めるなど、孤立・孤独を防ぎ、悩みを抱えた人に対して支援する体制づくりを推進
- ひきこもりに対する相談体制の強化に取り組むとともに、関係機関や支援を行う団体等とのネットワークの形成を通じて、ひきこもり本人や家族への支援体制を構築
- 様々な困りごとを包括的に受け止め、関係機関や地域の多様な主体との連携・調整を図るコミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域力の向上と支え合いの仕組みづくりを推進

⑤　いのちを支える安心の医療体制

- 地域の医療需要を見極めながら、医療資源を効率的に活用するとともに、医療と介護の連携により安定的に医療を提供できる体制を構築
- 医療機関と連携し、デジタル技術を活用しながら、医療体制のさらなる充実を図る取組を検討
- 医療機関や関係団体と連携し、災害時における医療救護体制を構築
- 地域の医療を支える役割を担う岐阜市民病院は、関係機関と連携して市民のニーズに応え、小児医療、精神科医療を含む幅広い医療を提供するとともに、急性期病院として、専門的な手術、がん医療などの先進的かつ高度な医療や救急医療を提供
- 災害拠点病院である岐阜市民病院は、災害時における救命医療を提供する機能を整備
- 岐阜市民病院を含め、広域的な小児一次救急医療や二次救急医療体制を構築し、圏域として安定的な医療体制を構築

⑥　だれもが健やかに、健康課題と健康危機に対応したまちへ

- がん検診の必要性を広く周知し、効果的な受診勧奨を進めるとともに、包括連携協定先の店舗を検診会場にするなど、受診しやすい環境づくりを進め、がん検診の受診率向上を図る
- 心臓病や脳血管疾患等の循環器疾患の危険因子である、高血圧、糖尿病、脂質異常症を予防・改善するための取り組みとともに、循環器疾患を増悪させ、生活の質にも関わるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）、CKD（慢性腎臓病）について正しい知識の普及を図るとともに、病気の早期発見や適切な治療の継続を呼びかけ、重症化予防を推進
- 食品衛生に関する啓発と監視指導を通じて、食中毒予防、食物アレルギー事故防止や適正な食品表示等を推進し、食品等の安全確保を図る
- 多剤処方を受ける後期高齢者に対して、薬剤師会、薬局と連携し、服薬相談につなげることで、ポリファーマシー対策に取り組む
- 予防接種の推進及び拡充を図り、わかりやすい情報提供を行うとともに、接種体制を整備する等、適切な感染症対策を推進
- 各種計画に基づき、関係機関との情報共有や連携を平時から強化し、感染症の発生やまん延、災害に伴う健康被害など、市民の生命や健康に重大な影響を及ぼす事態に迅速かつ的確に対応できる体制を確保
- 健康危機に関する正確で分かりやすい情報を適切に発信し、市民一人ひとりの理解を深め、予防行動につなげる

市民協働・防災・環境

人をつなぎ、暮らしと環境を守るまちへ

P23
❶ つながり支え合う地域コミュニティへ
❷ 一人ひとりの地域への想いをカタチに

P24
❸ いのちと暮らしと尊厳を守る防災
❹ 日常の安全・安心を確かなものに

P25
❺ 脱炭素・資源循環でクリーンな未来を
❻ 自然の豊かさと美しさを次の世代へ

❶ つながり支え合う地域コミュニティへ

- 地域のまちづくり活動について、まちづくり協議会の設立や地域まちづくりビジョンの策定、また、自立した組織に向けて担い手の育成や活動拠点の確保などによる機能強化を支援するとともに、地域ごとの特性やニーズ、課題を踏まえ、地域と地域が連携した取組を促進
- まちづくりにおいて行政の重要なパートナーであり、地域コミュニティの根幹を成す自治会の重要性を認識し、地域住民の自治会への加入及びデジタル技術の活用による自治会活動への参加がしやすい環境づくりなど、その機能を果たせるよう支援
- 行政と社会福祉協議会などの団体が連携し、高齢者や障がいのある人などへの声かけなど様々な見守り活動や助け合い活動、公的な相談支援体制との連携など互いに助け合う地域づくりを促進
- 地域における課題解決や施設整備等の合意形成のプロセスを通じ、住民同士の信頼やネットワークである「社会関係資本（ソーシャルキャピタル）」を醸成し、住民自治の深化を促進

❷ 一人ひとりの地域への想いをカタチに

- 企業や団体、NPO 等が主体、あるいは、市との連携・協働により、地域社会の課題解決を図る取組を促進
- すべての世代のシビックプライドの醸成につながるよう、地域での様々な活動を実践する機会を創出
- 多様な主体の協働を促す中間支援組織のコーディネート機能を充実しつつ、中間支援組織相互の連携を図る
- 個人の学びの充実とともに、地域課題の解決に向けた活動にも活きる生涯学習機会の提供

❸ いのちと暮らしと尊厳を守る防災

- 南海トラフ巨大地震や異常気象による豪雨や洪水など様々な災害に対して事前防災対策や応急対策、復旧から復興まで一連の諸活動を円滑に実施できる体制の構築や事業を推進
- 道路や橋梁、上下水道、公園緑地等の維持管理や更新、耐震化、計画的な整備や長寿命化を推進するとともに、住宅、利用者の多い建築物、災害時の輸送路沿いの建築物の耐震化を支援
- 地震時の倒壊による被害を防止するため、通学路を含む道路や指定緊急避難場所等に沿って設置されている危険なブロック塀等の撤去を支援
- 地域と連携した学校での防災教育を推進し、将来の地域防災のみならず地域コミュニティを支える人材を育成。また、地域の防災訓練の充実や防災士育成など地域防災力の向上を図る
- デジタル等新技術を活用した備蓄品等の整備、管理や被災者支援の取組の充実など防災対策を推進
- 民間企業等と災害対応に関する協定締結を進めるとともに、民間企業におけるBCP（事業継続計画）の策定推進など防災パートナーシップの構築を強化
- 自ら避難することが困難な要配慮者の命を守るため、個別避難計画の策定促進と、地域や専門職が連携した誰一人取り残さない避難支援体制を構築

❹ 日常の安全・安心を確かなものに

- 警察や関係機関との連携を図りながら、地域の自主的な防犯活動を促進
- 犯罪被害者が受けた被害の回復及び軽減を図る支援施策を推進
- 公共の場所における客引き行為等の禁止等に関し、必要な事項を条例で定め、市民等が安全かつ快適に通行・利用することができる環境づくりの推進
- 交通安全教育や啓発活動のさらなる推進により、交通安全対策を強化
- きめ細やかな消費者相談に加え、情報の収集提供により消費者教育を推進し、消費生活の安定と向上を図る
- 消防隊員の能力開発や消防庁舎・消防車両などの整備により消防体制を強化するとともに、救急隊員の質の向上による救急体制の充実、市民への救命講習による救命率の向上を図る
- 消防団の拠点整備や団員の確保により消防団機能を強化するほか、水防団員の活動環境整備、団員の確保や水防技術の向上・伝承による水防機能の維持・向上を図る

❺ 脱炭素・資源循環でクリーンな未来を

- 市有施設において先導的な省エネ化・再生可能エネルギー導入を推進し、市域全体の取組を牽引するとともに、その取組を民間事業者に波及させることにより、脱炭素化を促進
- 市民や事業者等にライフスタイルの脱炭素化に向けた行動を促すとともに、温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするまちである、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組を市民、行政、企業が一体となったオール岐阜の体制で推進
- 気温の上昇や大雨の増加など、気候変動の影響による被害を軽減し、よりよい生活ができるようにする「適応」の取組を推進
- ごみの発生抑制や再生利用など3R の取組に加え、持続可能な形で資源を利用する循環経済（サーキュラエコノミー）への移行を推進するとともに、気候変動・生物多様性保全・環境汚染防止等の同時解決（シナジー推進）を目指す
- 廃棄物の安定的処理体制の構築による適正処理を推進するため、東部クリーンセンターなどライフラインの一つであるごみ処理施設を計画的に更新するとともに、コストとサービスのバランスを考慮しながら、効率的な収集運搬体制を構築

❻ 自然の豊かさと美しさを次の世代へ

- 本市の生物多様性を保全し、未来に引き継ぐため、自然環境の保全と再生に関して、市民や事業者、行政が連携してそれぞれの役割を果たしグリーンインフラの取組及び、自然と共生するまちづくりを推進
- 生物多様性の損失を止め回復軌道に乗せるネイチャーポジティブの視点に立ち、多様な生きものとの関わりを大切にし、生物多様性保全に関する周知・啓発や自然環境保全活動団体の活動などを促進
- 市民の環境を大切にする意識の醸成、次世代を担う子どもたちや地域の環境保全活動の核となる人材を育成するため、環境教育の充実を図る

産業・労働・交流

活気あふれる仕事と交流のあるまちへ

P27

❶ 「自ら稼ぐ地域産業」への支援

❷ 民間の新しいチャレンジを応援

P28

❸ 食を支え、未来へつながる農業

❹ 自分らしく働ける雇用のあるまちへ

P29

❺ 岐阜市ならではの魅力を磨き、伝わるまちへ

❻ 人を呼び込み、地域の活力を生み出すまちへ

❶ 「自ら稼ぐ地域産業」への支援

- 地域産業の魅力・ブランド力を高め、地域の誇りとなる持続可能なビジネスモデルを未来へ継承する
- 農商工連携の促進等による新たな製品・サービスの開発や販路開拓を支援して地域内に新たな取引関係を生み出し、地域経済循環を高める
- デジタルツールの活用による新しい時代に適したサービスの創出や、創造性の高い仕事に集中できる環境づくりを支援し、産業の付加価値向上、事業の継続・発展を促す
- 企業の再生可能エネルギー等の活用を促すことにより、サプライチェーンからの除外リスクや電力コストの抑制を図り、企業の経営力強化につなげる
- 中小企業・小規模事業者の資金繰りや、事業承継の取組を支援することにより、事業継続リスクの抑制と事業者等の変化への適応力強化を図る

❷ 民間の新しいチャレンジを応援

- 産学官連携で、AI、IoT、ロボティクス、ビッグデータなどのデジタル技術の活用や、人材・資金・情報などの集約により、新たなイノベーションを生み出すことで、スタートアップや新事業を創出し、地域内に新たな産業を生み出す
- 地域経済の活性化と新たな雇用の創出を図るため、製造業等の誘致に加え、農業6次産業化など農業の新たなフェーズを創る企業や、産学官連携によるライフサイエンス拠点の形成につながる企業の誘致を推進
- 脱炭素社会の実現に資する再生可能エネルギー関連の産業創出を促進し、エネルギーの地産地消による地域経済循環の向上など、経済と環境の好循環の実現を図る
- 将来の産業構造の変化にも適応し、将来的に社会や産業界からの需要が高まる理工系・デジタル分野の人材、新たな価値を生み出すことのできる柔軟で創造性の高い人材を育成するとともに、組織や地域の枠を越えた多様な経験や知見との共創により、地域企業の変革を促進
- 日本最大級のオープンイノベーション拠点「STATION Ai」（名古屋市）との連携を強化し、起業家交流イベントの開催や実証実験の受入れ支援などを通じて、スタートアップの誘致及び市内企業とのオープンイノベーションの創出につなげる

❸　食を支え、未来へつながる農業

- 農業を担う者による効率的な農業経営と中小規模の農家への支援、スマート農業の推進・デジタル技術の活用により生産性を向上させ、経営力強化を図る
- 近隣市町と連携した特産農産物のブランド力向上と販路の拡大支援により、高付加価値化及び収益性向上を図る
- 関係機関と連携した技術指導、農地や資金調達等の支援により、後継者育成だけでなく非農家からの就農も含めた多様な人材の就農を推進し、農業の次世代の担い手の確保・育成を図る
- 生産者と消費者とのつながりの強化、安全・安心な農産物の地産地消の推進により、市民や消費者の農業や農地の保全に対する理解の促進を図る

❹　自分らしく働ける雇用のあるまちへ

- すべての人に働くことを通じて居場所と出番をつくることが人々の幸せにつながるという考えのもと、ワークダイバーシティを推進
- 時間や場所にとらわれない、短時間・フレックス・テレワークなど多様な働き方の導入を促進
- 市内のみならず市外にも広く目を向け、岐阜市の就労環境の魅力を高めることで多様な人材の地域への受け入れにつなげる
- 重層的な就労支援を通じて、就労に困難を抱える人を企業に結びつけることにより、働きたいすべての人が能力を発揮し活躍できる地域社会の実現を目指す

❺ 岐阜市ならではの魅力を磨き、伝わるまちへ

- 日本遺産『「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜』のストーリーを活かしたプロジェクトの推進や構成文化財群の保存・活用、歴史・文化資源の磨き上げ、効果的な発信を官民一体となって行うことで、本物志向の観光まちづくりを推進
- 観光客の回遊性向上や滞在時間拡大に向け、ぎふ長良川の鵜飼や岐阜城、金華山などに加えて、新たな観光資源を掘り起こし、面的に魅力を創出する
- 川文化に市民や観光客が親しみ、楽しめる親水空間を創出するため、長良川の水辺環境を整備し、官民連携による利活用を促進
- 観光の担い手の育成と観光資源に対する市民の誇りの醸成を図りながら、DMOを中心に市民と行政、観光事業者等が一体となって、観光を基軸とした持続可能なまちづくりを推進するとともに、宿泊税等を活用し、受入環境の整備や魅力向上に再投資する ※DMO：地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取役となる法人
- 多様な文化芸術に触れる機会を創出し、市内外の人々の交流を促進するとともに、本市固有の歴史文化の発掘や活用を通じて地域の魅力向上を図る

❻ 人を呼び込み、地域の活力を生み出すまちへ

- データ分析による戦略的なマーケティングやインバウンド誘客のプロモーションを強化し、国内外からの来訪促進と観光消費の増加を図る
- 戦略的なMICE 誘致と観光との連携により、地域のビジネス機会の創出や研究促進、地域経済への波及効果、都市のブランド力向上を図る　※MICE：Meeting（会議）、Incentive trave（I 報奨・招待旅行）、Convention（学会・国際会議）、Exhibition（展示会）/Event
- 地元プロスポーツの活性化や競技スポーツの振興をはじめ、まちなかの広場等を活用したアクションスポーツなど、市民の誰もが身近な場所で気軽にスポーツができる環境整備等を通じて、交流機会の増加を図るとともに、スポーツコンベンションや市外からの誘客を推進
- 海外都市との文化・スポーツを通じた市民交流や観光・農商工関連の産業をはじめとする経済交流を促進し、本市の魅力発信とグローバル人材の育成を図る
- 映画・テレビドラマ等の映像作品のロケ誘致・支援を積極的に行い、多様な観光資源を活かしたロケツーリズムを推進することで、地域の魅力発信と新たな観光需要の創出を図る

都市基盤整備・交通・中心市街地

活力と暮らしやすさのあるまちへ

P31

❶ コンパクト・プラス・ネットワークによる集約型都市へ

❷ デジタル技術等を活かしたまちづくり

P32

❸ 住み心地のよい住環境のあるまちへ

❹ 憩い・潤い・安らぎのある緑のまちへ

P33

❺ 住み続けられる安全・安心なまちづくり

❻ センターゾーンにおける官民連携まちづくり

❶ コンパクト・プラス・ネットワークによる集約型都市へ

- 人口減少や少子高齢化の進展が見込まれる中においても健康で快適な生活を確保するため、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方に基づき、災害リスクも踏まえ、住宅と医療・福祉・商業等の利便施設がまとまって立地するようゆるやかに誘導を図りつつ、公共交通と連携したまちづくりを推進
- 中心部・周辺部及び郊外部のそれぞれにおいて、地域の特性に応じ、ふさわしい都市機能や日常生活機能等が集積する拠点の機能を高め、都市の活力や魅力の向上を図る※中心部（中心市街地活性化基本計画に基づく中心市街地を含んだ地理的・機能的中心地）・周辺部（中心部の周辺に位置し、環状線沿線を中心とした地域）・郊外部（中心部及び周辺部を除く地域）
- 都市活動を支え中心部や拠点等を連絡する軸として公共交通や主要道路を位置づけるとともに、特に公共交通については、人口減少によるバス需要の低下や、深刻化する運転士不足などの状況を踏まえ、路線バスとコミュニティバスが連携した持続可能な公共交通ネットワークの構築を推進

❷ デジタル技術等を活かしたまちづくり

- 産学官連携のもと、デジタル技術等を活用し、交通や健康、観光等の各分野の課題解決とともに、分野を横断した全体最適化を図り、出かけて健康になるまちの実現を目指すスマートシティぎふの推進を図る
- 持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指し、公共交通への自動運転技術の導入に向けて取り組むとともに、民間との連携を強化し、本市に適したMaaS の研究を進め導入を推進

※Maas（Mobility as a Service）：一人ひとりの移動ニーズに対応して複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス

❸ 住み心地のよい住環境のあるまちへ

- 地域ごとの特性や都市環境を活かした、便利で快適に暮らせる住環境づくりを推進
- 行政や市民・事業者等が協働し、各地域における自然・環境、歴史・伝統、都市が調和した多彩で魅力的な景観を貴重な資産として未来に引き継ぐとともに、岐阜ならではの魅力ある景観形成・景観まちづくりの取組を推進
- 周辺の生活環境に悪影響を及ぼすおそれのある空き家への対策を進める一方で、官民連携による空き家の流通及び利活用を促進
- 大気や水、土壌などの環境を良好に維持・保全することや、自動車から環境負荷の小さい公共交通への転換を促すことなどにより、健康で環境にもやさしい暮らしを実現

❹ 憩い・潤い・安らぎのある緑のまちへ

- 本市における豊かな緑を貴重な地域資源、固有の景観として保全・継承するとともに、多面的かつ複合的な機能により安全で快適な都市環境を守り、まちの魅力を高める社会基盤「グリーンインフラ」として位置付け、持続可能なまちづくりを推進
- 緑を活用し、環境保全や災害防止、生物多様性の保全と再生などを目指すまちづくりを推進
- 市民が憩い安らぐ快適な生活環境を支える公園緑地の整備と活用の推進
- 官民連携のもと公共施設及び民有地の緑化を進め、市民や来街者の安らぎと潤いの場、緑豊かな親しみやすい空間・環境を創出し、市民の居住満足度の向上、交流人口の増大や地域活性化、まちなかのにぎわい創出を図る

❺ 住み続けられる安全・安心なまちづくり

- 市民の誰もが住み続けたいと思う魅力あるまちを実現するため、道路や河川、公園緑地、上下水道、ごみ処理施設などを適正に整備し、都市環境や都市基盤の効率的かつ効果的な維持・更新を図る
- 国道21号岐阜市内立体事業等の広域道路ネットワーク構築を関係機関と連携して進めるほか、広域連携に資する幹線道路整備などを推進するとともに、各地域の特性を踏まえ、通学路等の日常生活を支える生活道路の整備を計画的に推進
- 名鉄名古屋本線鉄道高架化事業に併せて、新たに整備される統合駅を中心に加納・茶所統合駅周辺土地区画整理事業を実施することにより、交通の安全性・円滑性の向上や、計画的かつ良好な市街地を一体的に整備し、安全・安心で利便性が向上した快適なまちづくりを推進
- 将来にわたって安定的かつ持続可能な上下水道事業に取り組み、ライフラインとしての機能を維持するとともに、衛生的で快適な都市環境を実現する
- 良質で豊富な長良川の伏流水や地下水を活かしつつ、水質管理の充実や強化等を図り、安全でおいしい水の供給を図る

❻ センターゾーンにおける官民連携まちづくり

- センターゾーンの各エリアと、それらをつなぐ連携軸の魅力や利便性を高めるとともに、センターゾーン全体で生まれるにぎわいや活動の連携を促進し、回遊性の向上や魅力向上を図る
- 駅周辺エリアでは、岐阜駅北の市街地再開発事業により岐阜都市圏の玄関口にふさわしい魅力ある都市機能の集積を促進し、にぎわいの創出や回遊性の向上、まちなか居住の促進を図る
- 柳ケ瀬エリアでは、今ある資産を活かしながら、新しい使い方でまちを変えるリノベーションまちづくりの取組みを進め、柳ケ瀬グラッスル35、セントラルパーク金公園、柳ケ瀬広場をはじめとする拠点や民間の建物を柔軟に使いこなす民間主導のまちづくりを促進し、エリアの価値向上を図る
- つかさのまちエリアでは、多様な主体による活動を通じて、にぎわいの創出と多様な人々の交流を促進するとともに、シビックプライドの醸成を図る
- 岐阜公園エリアでは、岐阜城跡をはじめとする歴史・文化資源を活かした整備を一体的に進め、観光拠点としての魅力向上と、来訪者をもてなす空間の創出を図る

行政経営の視点（案）

P35-36

行財政運営・公共施設等マネジメント

❶ 未来志向の行財政運営を行います

❷ 行政のＤＸを推進します

❸ 市民に寄り添う行政運営を行います

❹ 自治体経営の視点を取り入れた公共施設等マネジメントを進めます

P37

シティプロモーション

行財政運営・公共施設等マネジメント

❶ 未来志向の行財政運営を行います

- 計画的な財政運営に基づく財政規律の堅持
- 中長期的な都市経営の視点に立ち、未来への投資となる重点施策を推進
- アウトカム（成果）を重視した政策・施策・事業の構築
- 成果・優先度の見える化による効率的かつ効果的な事務事業の見直し

❷ 行政のD X を推進します

- スマートフォン等を通じた行政サービスの提供など、市民と行政との接点となる窓口業務のDX 推進
- デジタル化の進展に伴い、デジタル技術を活用することが難しい人たちへのきめ細やかなサポートを強化
- デジタル技術を活用したBPR の徹底や各種クラウドサービスの活用など、職員の事務効率化につながる市役所内部業務のDX 推進
- AI デフォルトな組織を目指し、AI の活用を前提とした働き方を推進
- 人流データやBIツール等を活用したエビデンスに基づく政策立案（EBPM）の推進
- コミュニケーションツールを活用した職員のタスク管理・タイムマネジメントの徹底
- DXを担う人材の育成・確保により、行政のデジタル化を加速
- ICTガバナンスの強化及び情報セキュリティ対策の徹底を図る

❸ 市民に寄り添う行政運営を行います

- 地域住民の身近なところで公共サービスを提供する事務所の機能を拡充
- 対話や、SNS など多様な媒体を組み合わせた幅広い市政情報の公開と市民広聴の推進
- 社会の変化を的確に捉え、市民一人ひとりに寄り添い、多様なニーズに応えられる資質・能力を備えた職員の育成及び組織横断の連携体制づくり
- 非常時においても市民サービスを継続できる組織体制づくり

❹ 自治体経営の視点を取り入れた公共施設等マネジメントを進めます

- 公共施設等の安全・安心を確保するための適切な管理
- 市民ニーズ等を踏まえた公共施設等の最適化
- 民間事業者との共創による公共施設等の戦略的な利活用
- 空き地や老朽化した公共施設等の有効活用

シティプロモーション

- 本市の「住む人、来る人、働く人」を増やすための取り組み等をPRし、子育て世代や名古屋圏等から本市への移住や定住を促進
- 本市の人やコトと多様な関係を持つ人である関係人口のさらなる創出・拡大
- 時代や社会の変化を的確に捉え、新たな価値を生み出すことのできる人材を国内外から呼び込む取組を推進
- 市民のシビックプライドを醸成し、住み続けたいと思う人を増やす取組を推進
- 他都市にはない本市の魅力を「岐阜ならではの質の高い暮らし（ライフスタイル）」としてパッケージ化し、ブランディングを推進
- 行政組織におけるプロモーションスキルの向上